(公財)鳥取県産業振興機構　平成２８年度実績報告

事業名・内容	事業の実績等
Ⅰ　県内企業の経営基盤の強化の支援	
Ａ　新たな販路の開拓や受注機会の拡大による取引量の増大を支援する。	
１　県内企業の「自立型企業」への成長の推進	
(1)自動車関連産業育成支援事業 県内企業の自動車産業への参入や商談の成立に向け、自動車関連企業やメーカーと研究会等を通じて、専門技術者や連携企業等との連携を支援する。 ※政策目標 新規参入　１件 受注拡大　２件	【実績】 ○販路開拓 ・展示・商談会関係 メッセナゴヤ(3社) ㈱ケーヒン技術ニーズへのエントリー（7社) マツダグループ向け技術シーズ発信会(3社) トヨタグループ向け展示商談会(3社) ・上位企業訪問 16社を訪問（同行した県内企業９社) ○競争力強化 ・自動車シートのベンチマーキング会を実施 県内企業１２社参加、開発テーマ３件発掘 ・自動車セミナー（自動運転の技術動向とビジネスチャンス）３１名参加 ・「自動車部品研究会だより」７回発行 ○マネージャー、コーディネーターによる支援活動 ・県内企業年間延べ133社訪問、案件斡旋や情報提供を実施 【成果】 ○販路開拓関係 ・新規参入：２件 売上高に占める自動車部品の割合 Ａ社：０％　→　２％　Ｂ社：０％　→　５％ ・受注拡大：６件（内３社は２年連続で取引先拡大)
(2)製品開発支援事業 製品開発支援及び製品の販路開拓を一元的に推進するため、県内企業の製品開発を伴走型で支援し、その成果である製品の販路開拓を支援する。	【実績】 ○建築業から資材製造販売への変革支援 ・コンクリートの漏水を止める止水工法の開発・事業化に対し、ハンズオンで支援 ＊開発を完了し、現在は普及活動中 ＮＥＴＩＳ登録申請完了（６月） 普及促進のための「協会設立準備中」 ・上記新止水工法の海外（台湾）展開準備：海外特許出願 ・次世代産業育成事業として用途拡大を支援 産技Ｃと連携し、トンネルの背面空洞等インフラの補修技術を共同研究 Ｈ精工と連携し、２液が最適に混ざるポンプの基礎開発 ○ゴルフスティックに代わる「ケン玉」の事業化を支援中 ・設備投資ゼロ、新規追加部材ほぼゼロの範囲で新製品開発 ・けん玉ワールドカップにスポンサーとして参加 ・販売用ＷＥＢサイト作成 ・けん玉ワールドカップ主催者と新ブランドの生産（一部販売）につき契約締結 ○看板照明用ＬＥＤから演出照明へ事業拡大を支援 ・基本的な製品開発完了 ・イベント等において演出用フルカラー照明による参画 ・大型モニターによるイベントステージ実施 ○エクステリア用電源システムの開発支援 ・金型完成、先行生産　完了 ・納品先の評価良好 ○健康茶（ペットボトル）のＯＥＭ生産・販売事業への進出支援 ・ファブレス（ＯＥＭ）生産による売上アップを図る ・レシピ開発、ＯＥＭ先選定完了 ・生産・販売開始 ○仮設工事現場で使う吊チェーン長さ調整装置の生産販売事業の支援 ・製品開発完了

事業名・内容	事業の実績等

・鳥取県新技術登録完了
・本年度ビジネスプランコンテスト入賞
・意匠登録：１件、商標登録：１件、特許出願：２件

【成果】

１）新止水工法
・建築業から資材製造・事業化への変革
自社施工：鳥取県新技術・新工法登録により売り上げ拡大
部材販売：大手ゼネコンとの提携（特許は共同出願済み。）

２）健康茶（ペットボトル）事業
・ペットボトルのＯＥＭ生産を新規事業として開始
・初回生産分が完売し、第２ロット以降の受注につながった

３）けん玉事業
既存の生産設備、端材を活用した工芸品（けん玉）の開発・事業化
新たな設備投資なく新規な事業化達成（設備投資ゼロ）

２　県内企業の受注促進・販路開拓の支援

(1)受発注情報等収集提供事業

県内に企業取引コーディネーター（以下、ＣＤという）を２名配置し、県内企業の販路支援や県外発注情報を県内企業に紹介し、県内中小企業の受注機会の拡大に繋げる。
発注開拓担当ＣＤを東京、大阪、名古屋に配置。県外の発注企業を訪問し、情報収集に努めるとともに、県内の企業取引ＣＤと連携しビジネスマッチングを行う。
企業間の垂直連携によるユニット品等高付加価値製品の受注獲得や、水平連携による大量受注の獲得及び失注の低減等につなげる。

【実績】

○支援状況

区分(ｶｯｺ内は人数)	企業訪問件数等	企業訪問件数等 (昨年同期)
発注開拓ＣＤ(3)	557件	557件
企業取引ＣＤ(2)	1,512件	1,432件
合計	2,069件	1,989件
あっ旋（見積り）件数	587件	593件
成約件数	152件	215件
成約率	25.9%	36.2%
取引成立金額	161,459千円 (成立当初受注額)	214,381千円 (成立当初受注額)

○新規発注企業の開拓状況

努力目標：各地域　件／月の新規訪問

地域	訪問件数	今後の見込み			
		◎	○	△	×
大阪	42 件	0	2	4	6
名古屋	26 件	0	5	2	3
東京	43 件	6	8	21	2
合計	111 件	6	15	27	9

◎…案件をいただけた。
○…継続訪問すれば案件出てきそう。
△…普通の感触。１度だけではわからないので、継続して様子をみる。
×…案件出てくる可能性は低い。

【現状分析】

全国的に切削、研削関係の発注案件が多くなっているが、同業の県内企業は新規の案件を受け入れるキャパシティが不足。斡旋に至らない事例が発生し、県外からの案件が成立に繋がる案件が少なくなり、低減傾向にある。
県内間での取引斡旋は企業連携の促進もあり、成立件数を維持。

(2)専門展示会出展支援事業

県内企業の製品・技術を広くアピールし、新規取引先の開拓や販路の拡大を支援するため、東京、大阪、名古屋等大都市圏で開催される集客能力の高い専門展示会に鳥取県ブースを設置する。
また、専門展示会へ自社で出展する費用を助成する。

【実績】

○専門展示会（国内）出展状況

期日	名称	企業数	商談件数	成立件数	成立金額
5/24～/27	NEW環境展2016	4社	52件	4 件	300千円
6/22～/24	機械要素技術展	5社	126件	4 件	7,360千円
10/26～10/29	メッセナゴヤ	3社	33件	0 件	－
3/7～3/10	建築・建材展2017	3社	17件	－	－
3/6～3/9	FOODEX2017	9社	130件	－	－

事業名・内容	事業の実績等

○専門展示会（国内）出展後のフォロー状況

		H27 年度	H28 年度
ものづくり系 専門展示会	継続	3 社	8 社
	新規	3 社	0 社
	成約金額	8,915 千円	8,884 千円
	調査期間	(1 年半～2 年)	(3 ヶ月～1 年)

		H27 年度	H28 年度
食品系 専門展示会	継続	3 社	0 社
	新規	2 社	3 社
	成約金額	737 千円	198 千円
	調査期間	（1 年～2 年）	(1 ヵ月)

専門展示会出展助成事業（個別出展支援）　９社

【成果】
ものづくり系専門展示会では、「機械要素技術展」「New環境展」で新規の商談が複数成立した。

(4)商談会等開催事業
・専門展示会に出展し、県内企業の技術・製品をPRするとともに、販路開拓の支援を実施する。
・各企業が個別の専門展示会へ出展する費用の一部を助成する。

【実績】
○ものづくり関係（提案型）

開催	名称	参加者数 (単位:社)	商談件数・折衝状況
6/22 -24	首都圏ビジネスマッチング商談会(NPO)	発注：16社 受注： 4社	商談件数21件、成立0件、継続支援中

○ものづくり関係（受発注）

開催	名称	参加者数 (単位:社)	商談件数・折衝状況
6/22	関東圏広域商談会 （東京）	発注： 5社 受注： 4社	商談件数5件、成立0件、継続折衝案件5件。継続して支援中。
9/8	中国ブロック商談会 （鳥取）	発注：40社 受注：37社	商談件数105件、成立8件、継続折衝案件6件。
9/29	ものづくり受発注商談会 （大阪）	発注：41社 受注：21社	商談件数55件、成立5件、継続折衝案件47件。
2/22	上海ものづくり商談会 （中国・上海）	発注： 7社 受注： 5 社	商談件数8件、成立3件
3/1 -2	近畿・四国合同商談会 （京都）	発注：52 社 受注：20 社	商談件数77件、継続折衝案件69件、継続して支援中。

○食品関係(商談会)

期日	名　称	バイヤー	セラー	商談件数	成立件数
6/7-8	農商工連携・6次産業化首都圏小売業食品商談会 in 鳥取・境港・米子	4社	36社	90件	32件
7/21	天満屋　食品商談会（米子）	5社	27社	49件	1件
8/22-24	農商工連携・6次産業化食品商談会 in 倉吉&倉吉・鳥取・境港現地商談会	3社	33社	47件	20件
9/12	みしまや　食品商談会（米子）	1社	18社	18件	3件
10/21	農商工連携・6次産業化首都圏小売業・食品商談会ｉｎ米子	4社	20社	33件	2件
3/6	地元食材マッチング商談会ｂｙ鳥取温泉	4社	8社	22件	3件
3/15-16	農商工連携・6次産業化食品商談会ｉｎ倉吉	4社	26社	43件	2件
	合　計	25社	168社	302件	63件

事業名・内容	事業の実績等

○食品関係（展示会及び展示商談会）

期日	名称・場所	出展企業	商談件数	成立件数
7/20-25	米子しんまち天満屋　夏の味力まつり2016	16社	16件	16件
2/15-17	スーパーマーケット・トレードショー2017	12社	187件	33件
3/6-9	ＦＯＯＤＥＸ2017	9社	130件	4件
	合　計	37社	333件	53件

３　県内企業の海外展開の支援

(1)北東アジアゲートウェイプラス実践事業

・県内企業の出展意欲が高い地域の海外見本市、商談会に出展し、海外販路の開拓を行う。
・ものづくり系企業の海外販路拡大を支援するため、医療分野及び自動車分野への参入を中心として販路開拓を実施する。
・県内企業が行う海外販路開拓活動にアドバイザーを同行させ海外展開を支援する。

【実績】

○海外展示会商談会支援の状況：25 社

開催日	商談会名	分野	企業数
9/22-9/23	江原医療機器展示会(GMES) (韓国江原道原州市)	ものづくり	3
11/23-11/26	メタレックス (タイバンコク)	ものづくり	2
11/11	鳥取県自動車部品関連企業商談会 (中国広東省広州市)	ものづくり	10

※県主催事業協力分

開催日	商談会名	分野	企業数
9/15-9/19	北東アジア博覧会国際商品展 (中国吉林省長春市)	総合	7
10/13-10/16	ＧＴＩ国際貿易・投資博覧会 (韓国江原道東草市)	総合	3

○海外販路開拓活動同行支援事業件数：15 件
㈱ビックツール、㈱ヘイセイ、大山乳業(協)、㈱ニシウラなど

【成果】

○新規取引件数（ものづくり系）５件
・GMES：㈲山本精機（美容機器）、旭東電気㈱（電位ﾏｯﾄ）、㈱ケイケイ（歯科用器部品・パラフィン浴槽）
・広州：旭東電機㈱（車載用電子基板）

(2)新たなビジネスモデル創出支援事業

県内企業が独自に行う海外展開活動に要する経費の一部を助成し、企業の海外展開支援を行う。

【実績】

○海外チャレンジ補助金の状況：12 件

申請者	事業内容	金額(千円)	備考
㈱オーク	アメリカ等個別商談	2,002	優良案件
大山乳業農業協同組合	韓国側企業との商談	264	
㈱鳥取再資源化研究所	ｱﾗﾌﾞﾋﾞｼﾞﾈｽﾌｪｱ出展	781	
㈱アド・ワーク	ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ等個別商談	206	
㈱ビックツール	アメリカ等出展	2,119	優良案件
リバードコーポレーション㈱	アメリカ個別商談	0	取下げ
米子製鋼㈱	アメリカ個別商談	250	
ティージャパン㈱	中国個別商談	102	
㈱海産物のきむらや	アメリカ個別商談	625	
ケイビーシー㈱	アメリカ個別商談	180	
フジ化成工業㈱	台湾個別商談	124	
㈲前田水産	ﾐｬﾝﾏｰ個別商談	394	
計（採択）	12件	7,047	

【成果】

○新規に取組む企業を含め、販路の拡大や新たな商談開拓など企業の積極的な海外展開に貢献した。
・㈱オーク：ＪＦＣ米国支店で売上が昨年比 160％以上、その他の４支店でも昨年比

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>120%以上となった。
・㈱アド・ワーク：業提携先を確保し、契約締結
・大山乳業協同組合：契約を締結し、継続販売が可能になった。新規商品開発・新規販売先に向けた商談を実施。
・㈱ビックツール：航空機分野・医療用機器分野でのニーズも受け、参入の可能性を見出した。</td></tr>
<tr><td>(3) とっとり国際ビジネスセンター運営事業
・県内企業からの海外展開に関する各種相談に対応するためのスタッフ（ＣＤ、専門相談員、外国語スタッフ（韓国、ロシア、中国）を配置する。
・ものづくりＣＤを東部駐在とし、専門相談員１名とあわせて東部の相談窓口機能を強化</td><td>【実績】
○専門相談員による企業支援件数：243 件
・海外展開戦略の相談対応事例
大山乳業農業協同組合(韓国)、㈱ビックツール(アメリカ)
米子製鋼㈱（アメリカ)、谷口・青谷和紙㈱(中国)
・新規進出企業（食品系）1 社：宝製菓㈱

○外国語スタッフ支援件数：1,031 件
<table>
<tr><th colspan="2">区分</th><th>件数等</th><th colspan="3">内訳</th></tr>
<tr><th colspan="2"></th><th></th><th>翻訳</th><th>通訳</th><th>相談</th></tr>
<tr><td rowspan="4">支援件数</td><td>韓国語通訳等</td><td>692</td><td>467</td><td>214</td><td>11</td></tr>
<tr><td>ロシア語通訳等</td><td>41</td><td>28</td><td>8</td><td>5</td></tr>
<tr><td>中国語通訳等</td><td>298</td><td>214</td><td>65</td><td>19</td></tr>
<tr><td>計</td><td>1.031</td><td>709</td><td>287</td><td>35</td></tr>
</table>
※通訳、翻訳業務、相談対応や展示会等の企画立案にも参画
※ロシア語スタッフ：産休・育休
(支援例)
・韓国語スタッフ：日中東北物産㈱、㈲山本精機
・ロシア語スタッフ：　㈱ｽｰﾊﾟｰﾌｪｲｽﾞ
・中国語スタッフ：㈱ヘイセイ、日本食品工業㈱</td></tr>
<tr><td>(4)「食のみやこ」鳥取県輸出促進活動支援事業
食品系企業の海外展開活動を支援するため、市場として有望と考えられる華南地域（台湾、マカオ等）において物産展等を開催し、水産物を中心とした加工食品や日本酒等の販路開拓を図る。</td><td>【実績】
○参加企業の状況：19 社
・台湾
<table>
<tr><th>開催日</th><th>商談会名</th><th>分野</th><th>企業数</th></tr>
<tr><td>2/23～3/5</td><td>鳥取県物産展 in 台北微風広場
(台湾台北市)</td><td>食品</td><td>12 社</td></tr>
</table>
○マカオから招聘したバイヤーによる県内企業視察及び商談
2/15-2/18：バイヤー招聘　7 社
【成果】
・僅かだが台湾市場と継続販売可能な商材（ｶﾆｺﾛｯｹ、ｲｶ加工品）が出てきた。
・輸出ノウハウが蓄積され、輸出対応がスムーズな対応レベルに達する企業も少しずつ出てきた。(北陽冷蔵㈱、㈱福栄、㈱ﾀﾞｲﾏﾂ、㈱大谷酒造、菌興椎茸(協)等　)
・マカオに向けた新たな鳥取県産食品を開拓（ｶﾆｸﾞﾗﾀﾝ、混ぜご飯の素、ｸﾞﾗﾀﾝｺﾛｯｹ等)</td></tr>
<tr><td>(5)海外展開外部専門家派遣事業
海外企業との取引の成約率を高めていくため、県内企業の海外展開の取組に対し、企業が抱える困難な課題に対して、外部専門家（人材派遣機関と委託契約締結）を派遣し支援を行う。</td><td>【実績】
○採択件数の状況：3 件
・㈱ウッドプラスチックテクノロジー（派遣元：経営支援ＮＰＯｸﾗﾌﾞ）：販売戦略支援
・ブリリアントアソシエイツ㈱（派遣元：国際社会貢献センター）：販路開拓支援
・㈱大谷酒造（派遣元：国際社会貢献ｾﾝﾀｰ）：販路開拓支援

【成果】
○現在成約に至った案件はまだないが、今後の進捗によっては成約が期待される。
・知名度を上げるため海外へ情報発信し市場ニーズ調査のための情報収集を行う中で、具体的な商談につながる案件が出てきた。
・商談会での同行支援により実務ノウハウを教示。
・海外向けパッケージ、市場情報等、海外販売戦略について検討</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等

B　県内企業の経営改善を支援する。

1　相談窓口の設置及び専門家の派遣

(1)専門家派遣事業
中小企業者の依頼により「ＩＳＯ取得」「技術相談」「ＩＴ化の推進」「ビジネスプランの作成」「情報セキュリティ対応」など各分野の専門家（経営革新アドバイザー）を派遣する。

【実績】
○専門家派遣件数(申込受付ベース)

項目名	件数	主な内容
経営全般	4件	売上向上、コスト削減、幹部指導
技術	4件	機器開発、不良削減、技術標準化
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	1件	新商品のｺﾝｾﾌﾟﾄﾒｲｸ、ﾌﾞﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ
IT	2件	HP作成支援、既存HPﾘﾆｭｰｱﾙ
ISO	3件	ISO認証取得支援
その他	6件	人材育成、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力向上
合計	20件	

年間目標達成率　　派遣件数：91.7%
※その他、中小企業庁のミラサポ専門家派遣にて対応（32件）

【成果】
・派遣利用企業へのアンケートで、回答企業の９割以上から専門家のアドバイスが参考になり、売り上げ増加や経費削減、組織活性化などの効果があったとの回答を得た。

(2)企業カルテハンズオン支援事業
　専門的知識を持ち業界動向に精通した専門家の協力を得ながら、企業カルテを活用した支援企業に最適な個別の戦略と支援方法を検討し、経営者と共に考え、共に動くような支援（ハンズオン支援）を実施。

【実績】
○「企業カルテ」実施企業数：８社（計画３０社）
○「ハンズオン支援企業数　：７社（計画５社）
内訳
平成28年度末支援企業数：２４社
（本年新規支援７社　支援継続１３社　機構以外《ミラサポ等》４社）

(3)再生支援協議会事業
厳しい経済情勢の中で、大小の経営課題を抱えている中小企業に対し、経営相談から再生計画策定支援及び再生計画策定完了後のフォローを行うなど、きめ細かく様々な支援を行う。
目標
再生計画策定完了数：２０件
抜本再生計画策定数：　５件
経営者保証GL支援数：　４件

【実績】

○窓口相談（１次対応）実績

前年度繰越	本年度発生	小計	対応中	2次対応移行	終了
2	１５	１７	1	6	１０

＊終了:各種アドバイスの実施や関係支援機関への紹介で終わった案件

窓口相談（1次）持込状況（本年度発生分）

山陰合銀	鳥取銀行	鳥取信金	保証協会	その他	直接
４．５	０．５	3	2	1	4

○再生計画策定（2次対応）

	前年度	新規	小計	2次移行	終了	策定完了	対応中
1.5次	5	2	7	6	0	0	1
2次	5	１０	１５	0	0	１０	5
内抜本再生	5	1	6	－	－	5	1

＊終了：計画が策定できなかった案件や、計画に対し債権者同意が得られなかった案件
＊1.5次：2次対応への見極め段階

○担当者１人当り処理件数実績

	鳥取県	中国平均	全国平均
１次対応数	６．５	６．１	７．３
再生計画策定数	４．４	３．９	４．６
経営者保証GL	０．９	０．７	０．６

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>○再生計画策定企業に係る雇用の確保（３９０人）１０社合計
（業種別内訳）
<table>
<tr><th>業種</th><th>先数</th><th>雇用確保数</th><th>所在</th></tr>
<tr><td>旅館業</td><td>４</td><td>１８９</td><td>中部・西部</td></tr>
<tr><td>製造業</td><td>２</td><td>８３</td><td>東部・西部</td></tr>
<tr><td>卸・小売業</td><td>２</td><td>７４</td><td>東部・西部</td></tr>
<tr><td>サービス業</td><td>１</td><td>４３</td><td>中部</td></tr>
<tr><td>建設業</td><td>１</td><td>１</td><td>東部</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>１０</td><td>３９０</td><td></td></tr>
</table>
○経営者保証ガイドライン支援完了数
一体型　２件(仕掛中3件)、　単独型　０件（終了2件）
【成果】
・再生計画策定完了数：１０件／２０件（仕掛中５件）
・抜本計画策定完了数：５件／５件
・経営者保証ガイドライン支援完了数：一体型２件/２件、単独型０件/２件</td></tr>
<tr><td>(4)経営改善計画策定支援事業
「経営改善支援センター」を設置し、中小企業や小規模事業者が経営改善計画策定支援費用として認定支援機関に支払う費用の一部を負担する。
利用申請決定数：５０件</td><td>【実績】
<table>
<tr><td>問合せ・相談数</td><td>２４１</td></tr>
<tr><td>利用申請決定数</td><td>４３</td></tr>
<tr><td>支払申請数</td><td>３９</td></tr>
</table>
○利用申請決定数
<table>
<tr><th></th><th>鳥取県</th><th>中国平均</th><th>全国平均</th></tr>
<tr><td>実績</td><td>４３</td><td>４１</td><td>４８</td></tr>
</table>
【成果】
・利用申請決定数：４３件／５０件
＊中小企業数に対する利用申請決定比率　0.25%は、全国最大値</td></tr>
<tr><td>(5)事業引継ぎ支援事業
後継者問題を抱える中小企業や小規模事業者の事業引継ぎや事業承継の促進・円滑化を図るため、課題解決に向けた助言、情報提供及びマッチング支援等を実施する。</td><td>【実績】
○とっとり企業支援ネットワーク連携機関である、金融機関等に向けたセミナーを８回開催
（島根銀行、鳥取県信用保証協会、鳥取銀行、山陰合同銀行、米子信用金庫２回、商工組合中央金庫、商工会連合会）
○実績８件（相談案件１２５件）
○後継者人材バンク立ち上げ（２９年２月）
【成果】
・新規相談事業者受付先数８６
内、金融機関及び商工関連団体からの情報入手が夫々２０件、５件となっており、広報活動の成果はこれからであると考えている。
・相談回数　２２４回
・後継者人材バンクに係る「認定支援機関登録」については、２９年度から登録開始。</td></tr>
<tr><td colspan="2">２　設備貸与事業等</td></tr>
<tr><td>(1)中小企業ハイテク設備貸与事業
(2)設備貸与事業
(3)創造的中小企業育成支援事業</td><td>【実績】
○債権回収等の状況
（平成19年度から新規貸付を停止。現在は債権の管理回収のみ）
<table>
<tr><th>区分</th><th>中小企業ハイテク設備貸与事業</th><th>設備貸与事業</th></tr>
<tr><td>正常先</td><td>0社</td><td>0社</td></tr>
<tr><td>未収先</td><td>1社</td><td>6社</td></tr>
<tr><td>破綻先</td><td>4社</td><td>4社</td></tr>
</table>
○破綻先、未収先からの回収状況
<table>
<tr><th>事　業　名</th><th>金額（千円）</th></tr>
<tr><td>中小企業ハイテク設備貸与事業</td><td>0</td></tr>
<tr><td>設備貸与事業</td><td>2,533</td></tr>
<tr><td>創造的中小企業育成支援事業</td><td>4,623</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>7,156</td></tr>
</table>
※現在は上記債権及び償却済債権の求償権の管理・回収のみ
【成果】
・平成26年に全ての設備を償却し、現在は債権及び償却済債権の求償権管理・回収のみ。設備貸与事業未収先企業が１社完済となった。</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等
Ⅱ　県内企業の技術及び経営の革新による新事業・新分野への進出を支援	
Ａ　企業の創出及び育成を支援する。	
１　起業創業チャレンジ事業による新たな企業の創出・育成	

起業創業チャレンジ総合支援事業

　新たな技術や経営ノウハウ等をもった革新的な中小企業等を創出・育成し、その活動を後押しすることで、県経済の活性化と雇用に資する。

【実績】

○起業創業チャレンジ補助金採択

事業者名	事業名
㈱なかうみ海藻のめぐみ	中海の水質浄化を図り、食の安心安全を未来につなげる環境循環型事業
㈱マリンナノファイバー	カニ殻から製造されたキチンナノファイバーの事業化展開
㈱サンテクノ	生産現場でIoTを活用しながら、無線式電気ドライバーカウンターを開発
㈱トットクライン	ナノバブル技術を用いた陸上養殖のコンサルティングと機器リース
㈱TREES FACTORY	女性目線を取り入れて県産農産品を手作り惣菜品として商品開発
(同)アパラティス	３Ｄデジタルモデル作製技術を活用した遺跡・歴史的建造物の保存と展示
㈱円形劇場	円形校舎をフィギュアミュージアムとして活用し観光客誘致の拠点へ

○専門家による相談対応

件数	内　容
３６回開催 相談３１件	「起業相談会」を開催し、創業者・創業希望者等による相談に対応（図書館及び中小企業診断士協会と連携して実施）

○採択後のフォロー

件数	内　容
３１件	起業創業チャレンジ補助金の採択企業（県）
５９件	地域需要創造型等起業・創業促進事業の採択企業（国）

○企業経営に係る諸課題に関し、技術専門家等を活用し、１２件の相談対応を実施。

【成果】

・「起業相談会」では起業相談等実績が年々増加傾向にある。

・H27年度、H26年度の採択企業については、雇用が増えつつあり、順調に推移している。

B　成長産業分野の産業集積を支援する。	
1　医療・福祉機器関連産業の育成	
(1)医工連携推進事業 　県内中小企業の医療機器関連分野への参入を支援するために、医工連携コーディネーターを配置し、「とっとり医療機器関連産業戦略研究会」の運営を通して、同分野による産業振興を図る。	【実績】 ○県内医療機関から取得のニーズの具現化 県内医療機関から入手したニーズ約200件について、中国経産局事業「医の芽ネット」の事業の一環として医療機器販売業「カワニシHD㈱」の協力を得て分析、６件に絞り込む。3/21に鳥取市内にて県報告会を開催し、県内企業等30名が参加。４社がニーズに対して興味を示し、今後具現化に向けて支援。 ○専門展示会への出展支援 ・国際福祉機器展H.C.R.2016（10/12～14）：５社 （㈱エッグ、㈱ニシウラ、㈱テムザック、㈱A&M、鳥大代高度医療推進C）出展。来社：303社、有効商談件数：57件） ・医療機器開発製造展（2/15～17）：６社（倉吉市受託事業分含む） （イナバゴム㈱、㈱A&M、協同電子㈱、㈱エッグ、ウエニ工業㈱、中山精工㈱）出展。来社：477社、有効商談件数：130件） ○鳥取県医療機器展示商談会in本郷（11/24） 企業18社、鳥大附属病院、産技C 商談件数：50件（本郷製販企業18社） 部材の受発注だけでなく、共同研究による新製品開発についても商談。この商談会をきっかけに、12案件について県内企業と本郷製販企業が事業化に向けて進展。 ○医療機器開発補助金 H27年度に採択された５社について、医療・福祉関連機器の開発、医療機器製造業取得、ISO13485認証取得等に関する資金支援を行った。（旭東電気㈱、㈲山本精機、イナバゴム㈱、㈱テムザック、㈱スター電機） H28年度中に医療機器製造販売業、同製造業各２社、ISO13485を１社が取得。 尚、市場性の問題等で１社が事業を中止されることになり、事業実施企業は４社となった。 【成果】 ・医療機器製造業、同製造販売業の許可取得企業：4社（累計12社） ・ISO13485取得企業：1社（累計4社） ・新たな医療分野参入企業：8社（累計13社） ・その他医療現場ニーズに基づいた製品開発：11件（累計17件） うち、県内企業200ニーズ案件：0件（累計0件）

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">２　リサイクル産業等環境分野の集積の支援</td></tr>
<tr><td>(1) リサイクル産業事業化促進事業
リサイクル技術・製品化技術の向上及び販路の拡大を図るとともに、新たにリサイクル分野に取り組む企業を創出する。</td><td>【実績】
○リサイクル産業事業化促進の状況
<table>
<tr><th>項目</th><th>実績内容</th></tr>
<tr><td>シーズ探索及び情報提供</td><td>①ジオポリマー法（廃棄物等固化技術）
②木質（バイオマス）微粉砕装置
③微粉砕物等の混錬装置　等（１６件）</td></tr>
<tr><td>検討会・研究会の運営等</td><td>検討会、研究会の開催（５９回）
専門家派遣（3回）</td></tr>
<tr><td>補助金等についての助言</td><td>助言、申請支援等（２２件）</td></tr>
<tr><td>知的所有権取得への支援</td><td>特許及び商標出願、先行技術調査、秘密保持等（１６件）</td></tr>
<tr><td>販路情報の提供</td><td>環境展・鉄鋼メーカー、高速道路、法面等の維持管理（２１件）</td></tr>
</table>
○事業化の主な実績
<table>
<tr><th>企業名等</th><th>実績内容</th></tr>
<tr><td>日新バイオマス発電</td><td>ジオポリマー法によるバイオマス灰の有効利用・鉄道枕木</td></tr>
<tr><td>モルタルマジック</td><td>ゼオライト・セラミックサンドリサイクル</td></tr>
<tr><td>ワイエスエンジニアリング
ウッドプラスチックテクノロジー</td><td>もみ殻のリサイクル</td></tr>
</table>
【成果】
・新たにリサイクルビジネスに取組む企業件数　１１社
・企業ニーズから新たに７つのテーマ設定を行うことができ、事業化に向けて検討を進めている。</td></tr>
<tr><td>(2) 次世代環境産業創出プロジェクト事業
再生可能エネルギー関連分野及びLED 関連分野において、新たな価値や高付加価値の製品・技術の開発につながる研究開発事業を通じて、県内企業の技術・開発力等の向上や新たな産業の創出を図る。</td><td>【実績】
<table>
<tr><th>区分</th><th>事業名</th><th>実施状況</th></tr>
<tr><td>継続事業
(H27/28)</td><td>情報受信機能搭載ソーラー式ＬＥＤ防犯灯の開発及び実証検証

委託事業者
光電気LEDシステム㈱</td><td>・緊急情報受信による照明点滅や電波時計による点灯時刻の設定等が可能なソーラー式LED防犯灯の開発試作、フィールド実証検証を実施
・カメラ通信機能等スマート化として、wifi接続による情報提供ステーション及び、観光／緊急情報のアプリ開発を実施
・2次設計試作品のフィールド実証検証実施</td></tr>
</table>
【成果】
・成果物　2次設計試作品、試作品フィールド実証検証データ及び事業報告書（図面、システムプロトコル、リモートコマンドデータログ等のエビデンス）
・実証検証
鳥取県西部総合事務所正面入口右側敷地内に設置</td></tr>
<tr><td colspan="2">３　ＬＥＤ産業等のさらなる集積の支援</td></tr>
<tr><td>ＬＥＤ産業競争力強化事業
県内ＬＥＤ関連産業の振興発展に資するよう、鳥取県産のＬＥＤ商品の認知度向上（ブランド化）を図るとともに、企業の商品開発における課題解決を支援する体制を確保し、ＬＥＤ産業のさ</td><td>【実績】
○開発支援
<table>
<tr><th>支援内容</th><th>内訳</th></tr>
<tr><td>商品開発支援品件数</td><td>７件</td></tr>
<tr><td>技術相談支援品件数</td><td>４４件</td></tr>
<tr><td>企業支援</td><td>企業打合せ１９０回、資料提供５９８回</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等
らなる集積化と事業拡大を促進する取組みを実施する。	

○競争力強化推進支援

・県産LED関連商品を市場や消費者にＰＲする取り組み

道路、ランドスケープなどの公共照明、農業分野や産業分野に向けの県産LED照明機器等の普及を促進し、県民等に鳥取県産のLED照明機器製品及び、LED産業のＰＲ

分野	商品	取り組み
農業 （植物栽培）	植物栽培用LED照明機器	栽培マニュアルとのセットで販促展開 /県内ストック生産圃場に普及（とっとり農業戦略連携） /ライトテックEXPO展示会出展
社会インフラ （道路管理者）	LED道路照明機器	鳥取県道照明LED化（当年度1,000灯器）施策の支援 /十字、T字交差点仕様LED道路照明の開発設計支援 /（参考）県道4,000灯のLED化、当年度が最終年度
社会インフラ （自治体等）	パブリック照明灯	専門家連携による県内企業のシステム街路灯の事業化 /展示会出展、ランドスケープ設置等の取組み実施 /（参考）神戸市メリケンパーク設置（H29.3施工）
特殊 （産業機器等）	紫外LED照明用実装基板	紫外LED搭載基板の販促支援 /産業大型プリンター、半導体製造装置等の採用販促 /市場競争力確保の知的財産権取得支援 /ライトテックEXPO展示会出展及び商談支援

・専門展示会等での企業のマッチング

＜第9回ライトテックEXPO内 LED/ 有機EL開発・応用　技術展＞

期　間	平成29年1月18日～20日
出展者（出展品）	アロー産業、片山電機、フジ電機、アロイ工業、鳥取スター電機、鳥取電子

○商談状況

	アロー産業	片山電機	フジ電機	鳥取電子	アロイ工業	鳥取スター電機	合計
有効商談件数（①～④合計）	28	46	31	17	5	8	135
①商談成立	0	0	0	0	0	0	0
②見積依頼	5	7	0	0	0	5	17
③後日訪問等の約束	8	26	0	0	0	3	42
④その他	15	13	31	17	5	0	76

【成果】

○開発支援件数

区分	H28年度	H24～H28年度
商品開発支援品件数	７件	３３件
商品開発支援品終了件数	７件	３３件
技術相談支援品件数	４４件	９２件
技術相談支援品終了件数	４４件	９２件

○受注等実績

項目	件数	受注額（千円）	備　考
量産品継続受注開始	１１件	６６２，９６７	前年末比＋219,304千円
受注（継続の見込有）	４件	４，７６０	前年末比　＋3,030千円
サンプル公開・商談中	３件		
設計検討･開発中	１件		
試作実施・開発中止	１３件		
開発断念	１件		
技術相談成果の製品	２３件	４０２，４４０	前年末比 ＋168,451千円
合計	５６件	１，０７０，１６７	前年末比 ＋390,785千円

・専門展示会等

〝事業拡大推進分野に応じた企業のコア化を推進〟のもと、多方面産業分野からの来場、出展企業連携の相乗効果など、一定の成果を得た。また、会期中の出展企業取材記事（農業新聞1.25付け）によりメロン栽培農家（北海道）の引合い有り。

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ｃ　県内の経営資源を利用した新商品等の開発や事業化を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">１　研究開発への助成</td></tr>
<tr><td>(1)次世代・地域資源産業育成事業
大学等の研究シーズや共同研究成果、農林水産物等・産地技術・観光資源等県内の地域資源を活用した製品・技術の実用化に向けた研究開発、販路開拓を行う中小企業者等への取組みに対し、基金運用益から助成する。</td><td>【実績】
○採択状況等
<table>
<tr><th>事業区分</th><th>採択件数</th><th>交付予定金額(千円)</th></tr>
<tr><td>次世代産業育成事業</td><td>6</td><td>５３，１６６</td></tr>
<tr><td>地域資源活用事業</td><td>6</td><td>２３，２９２</td></tr>
<tr><td>「打って出る」とっとり応援事業</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>１２</td><td>７６，４５８</td></tr>
</table>
※第４回審査会で採択された事業については、採択金額で集計
○申請・採択状況等
・第１回審査会 5/15　申請件数：２件　採択件数０件
・第２回審査会 9/25　申請件数：７件　採択件数７件
・第３回審査会 12/20　申請件数：５件　採択件数２件
・第４回審査会 3/16　申請件数：４件　採択件数３件

【成果】
本事業の基金運用が平成２９年度（H30.3.31）で終了する為、事業期間を少しでも長く確保するため、第４回目の審査会を年度前倒しで開催した。その結果、採択件数は１２件となり、年度目標の１０件を達成することができた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">２　農林漁業者と県内企業との連携等の促進</td></tr>
<tr><td>(1)農商工連携促進事業
農林漁業者と中小企業者が連携し、県産の農林水産物を使い「食のみやこ鳥取県」にふさわしい新商品・新サービスの開発、販路開拓等の取組みに対し、基金運用益から助成する。</td><td>【実績】
○採択状況等
<table>
<tr><th>事業区分</th><th>採択件数</th><th>交付予定額（千円）</th></tr>
<tr><td>農商工連携事業</td><td>7</td><td>５１，２９７</td></tr>
<tr><td>農商工連携支援事業</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>計</td><td>7</td><td>５１，２９７</td></tr>
</table>
※第４回審査会で採択された事業については、採択金額で集計
○申請・採択状況等
・第１回審査会 6/2　申請件数：１件　採択件数０件
・第２回審査会 9/1　申請件数：１件　採択件数０件
・第３回審査会 11/21　申請件数：３件　採択件数３件
・第４回審査会 3/8　申請件数：５件　採択件数４件
○自主事業
・商談会の開催による販路開拓支援（５回、９会場）
・専門展示会（スーパーマーケット・トレードショー2017）への出展支援（１２社）
・消費者の求める商品の開発（ブラッシュアップ）支援
→　「売れる商品開発、企画力&営業力ＵＰ講座」４回シリーズ開催　（１１社）
※商談会、専門展示会の実績については、「地域資源活用・農商工連携促進事業」参照

一旦製品開発を終了したが、売上が伸び悩んでいる商品を支援するため、商品の改良を伴う新たな販路開拓についても補助対象にするよう交付要領を改定し、商品改良に取り組む事業者を資金面でも支援していく。</td></tr>
<tr><td>(2)農商工連携研究開発支援事業
農林漁業者と中小企業者等が手を組んで行う農商工連携の事業化を図るうえで、研究開発に必要な基礎的調査、情報収集、開発検討の取組みに対し、基金運用益から助成する。</td><td>【実績】
○申請件数：３件　　採択案件：２件
○農商工連携事業を目指す事業者に対して、初期試作やデータ収集への活用を積極的に推進し、農商工ファンド事業に発展できるよう案件発掘を進めていく。</td></tr>
<tr><td>(3)地域資源活用・農商工連携促進事業
中小企業者と農林漁業者のマッチングによる農商工連携の促進及び、開発された商品等の販路開拓など、入口出口戦略の強化を</td><td>【実績】
○マッチング担当
<table>
<tr><th>区分</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>相談対応件数</td><td>４８４件</td></tr>
<tr><td>マッチングの候補となる事業者の紹介件数</td><td>６４件</td></tr>
<tr><td>マッチング成立及び新規案件発掘等の件数</td><td>２９件</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td>支援する。</td><td>○販路開拓担当
<table>
<tr><th>区分</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>相談対応件数</td><td>３８７件</td></tr>
<tr><td>企業訪問による販路開拓件数</td><td>２８４件</td></tr>
<tr><td>商談会開催による商談成立件数</td><td>７２件</td></tr>
</table>
【成果】
○マッチング担当
・計画申請においては、専門家派遣等を活用しブラッシュアップに関する支援を行った結果、Ｈ２８年度は、９件が申請まで進み、７件が採択された。
・東中西部農商工こらぼ会議等、支援機関に積極的に農商工連携ファンド事業の紹介を行った。新製品だけではなく、既存商品の改良を伴った販路開拓についてもファンド事業の活用が可能になったことをうけ、案件のすそ野を広げるため要領改正の周知に努めた。

○販路開拓担当
鳥取県並びに鳥取県商工会連合会等の支援機関と連携した結果、多くの業態の事業者が商談会に参加することとなり、商談会で得られたバイヤーからのアドバイスによって、多くの商品がブラッシュアップに向けた市場情報を得ることが出来た。</td></tr>
<tr><td>(4) スーパーマーケット・トレードショー出展事業
スーパーマーケット・トレードショーへの出展を通じ、鳥取県内の食品関連企業の県外へのＰＲ、販路拡大を支援する。</td><td>【実績】
出展期間：2/15～17　　出展事業者：12 社
<table>
<tr><th>項目</th><th>件数※</th></tr>
<tr><td>有効商談進行件数</td><td>187 件</td></tr>
<tr><td>商談成立件数</td><td>33 件</td></tr>
</table>
【成果】
８小間に県内１２事業者が出展、ブース装飾は「食のみやこ鳥取県」を掲げ、統一したデザインでアピールした。取引成立に繋がった案件に加え、多くの継続商談案件が発掘された。一方で、商品は評価を受けたものの、物流ロットや納入ロットの不合致、帳合機能の不具合などで商談が進展しないケースもあった。</td></tr>
<tr><td>(4) ６次産業化総合支援事業(県補助事業)
農林漁業としての一次産業に加え、二次産業としての製造業、三次産業としてのサービスや販売業等を総合的かつ一体的に展開することで、農林水産物の付加価値向上、農林漁業者の所得向上、農山漁村における雇用の増大などにつなげることにより、地域経済の活性化の取組みを推進する。</td><td>【実績】
<table>
<tr><th>項目</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>新規6次産業化法認定事業者</td><td>1社</td></tr>
<tr><td>プランナー等の派遣を通じた個別相談</td><td>145 件</td></tr>
<tr><td>簡易な相談対応、助言の提供</td><td>47 件</td></tr>
<tr><td>６次化法認定事業者に対するフォローアップ</td><td>14 件</td></tr>
<tr><td>個別相談会</td><td>3 回</td></tr>
</table>
【成果】
企画推進員を２名配置し、６次産業化への誘導促進、６次産業化を目指す事業者やすでに６次産業化の法認定を受けた事業者に対して個別の課題解決やきめ細やかなフォローアップ対応を行った。</td></tr>
<tr><td colspan="2">Ｄ　特許等を活用して新たな技術の導入を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">1　特許技術の活用及び流通の支援</td></tr>
<tr><td>(1) 知的財産活用ビジネス支援事業
知的財産を活用した事業の事業化による収益の向上を図るため、企業等の企画段階から事業化まで包括的な支援を行う。</td><td>【実績】
○知財活用事業化案件等の状況（知財を活用した企画から販売までの一貫支援）
<table>
<tr><th>支援企業件数</th><th>会社名</th></tr>
<tr><td>１０件</td><td>㈱シャルビー、㈱フジタ、㈱ＬＡＳＳＩＣ、㈱ケイケイ
㈲サンパック、光プロジェクト㈱、エンドウ商事㈱、ジーアイシー㈱、ブリリアントアソシエイツ㈱、ケイズ㈱</td></tr>
</table>
○知財ビジネスマッチング　２回開催
①7/20　富士通、日産自動車、ＳＭＫ、中国電力　参加
②12/9　ＮＴＴ、イトーキ、京セラコミュニケーションシステム、パナソニック　参加</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td></td><td>【成果】
・ジーアイシー　見守りシステム「Mittell」H29年夏頃量産に向けて開発中
・サンパック　飛翔性害虫捕獲装置「モウ安心」販売開始。プロモート。
・ケイケイ　頬粘膜保護装置「オーラルシェル」H29.6.11販売予定
○知財ビジネスマッチングにより、特許ライセンス契約押印待ち１件、秘密保持契約締結３件、大企業との事業提携検討中１件の成果があった。</td></tr>
<tr><td>(2)特許流通支援事業
県内企業等の特許導入による研究開発投資・リスクの低減、新商品開発の促進、また、自社特許を他社へ流通させることによる収益の向上を促進するため、特許流通の普及啓発・ライセンス等のマッチング等を実施する。</td><td>【実績】
○特許流通ＣＤの支援状況(新商品化、新事業化に繋がる知財マッチング)
<table>
<tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>企業訪問件数</td><td>５２６件</td><td>うち 新規１２０件</td></tr>
<tr><td>成約件数</td><td>２８件</td><td></td></tr>
</table>
○成約件数２８件の内訳；
<table>
<tr><th>区分</th><th>件数</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>特許実施許諾</td><td>１１件</td><td></td></tr>
<tr><td>共同開発･共同出願</td><td>１件</td><td></td></tr>
<tr><td>秘密保持契約・覚書</td><td>１６件</td><td></td></tr>
</table>
○９/２８　「産から学へのプレゼンテーション」開催　県内企業４社参加
(県外参加： 岡山大学、岡山理科大学、岡山県立大学、津山高専、山口大学)
【成果】
○成約件数は、本年度目標を達成。
○「産から学へのプレゼンテーション」共同開発進行中１件、検討中２件</td></tr>
<tr><td>(3)特許等取得活用支援事業
中小企業の知財活用支援の県中核機関として知財の課題等を一元的に受け入れる「知財総合支援窓口」を設置し、ワンストップサービスを提供する。(一般社団法人鳥取県発明協会とのコンソーシアム)。</td><td>【実績】
○知財ＣＤの支援状況
<table>
<tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>相談支援内容</th></tr>
<tr><td>窓口支援</td><td>６４０件</td><td rowspan="3">特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援</td></tr>
<tr><td>企業訪問</td><td>３１０件</td></tr>
<tr><td>発掘活動</td><td>９８件</td></tr>
</table>
○知財専門家の支援状況
<table>
<tr><th>支援項目</th><th>件数等</th><th>相談支援内容</th></tr>
<tr><td>窓口支援</td><td>１１２件</td><td rowspan="2">特許、商標、意匠の出願手続き支援、類似案件調査、事業モデル構築、知財契約関連、ブランド構築等の支援</td></tr>
<tr><td>企業訪問</td><td>９７件</td></tr>
</table>
○アンケート調査
(やや満足以上)　上期１００％　下期１００％
【成果】
○知財ＣＤ、知財専門家の支援件数共に目標を達成。</td></tr>
<tr><td>(4)特許流通フェア事業
県内企業が保有する特許技術の県外への売り込みを促進するため、実施許諾先となり得る企業が多い大都市圏において開催される展示会に出展する。</td><td>【実績】
○２０１６NEW環境展　４社出展
アースウェイ、大協組、松原産業、鳥取再資源化研究所</td></tr>
<tr><td>(5)中小企業外国出願支援事業
県内中小企業者等が行う海外への戦略的な特許出願等に対する支援（補助）を行う。</td><td>【実績】
○県補助金　PCT特許出願（日中東北物産㈲、㈱ﾋﾞｯｸ・ﾂｰﾙ）
ﾏﾄﾞﾌﾟﾛ商標出願　(㈱ヘイセイ、㈱MY HONEY)
○国補助金　特許　(ローター工業㈱、㈱イルカカレッジ、大村塗料㈱)
商標　(㈱MY HONEY、㈱シャルビー)</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等

Ⅲ　高度産業人材等の育成の支援

～　県内産業の高度化に資する人材の育成・確保を支援する。

1　県内産業の人材育成のためのセミナー等の実施

(1)産業人材育成支援情報発信事業

県内企業の人材育成支援を効果的に実施するため、県内企業へ情報提供を行うウェブサイト（とっとり step）の運営管理を行う。

【実績】

○「とっとりｓｔｅｐ」の運営状況

項目	全体	うち鳥取県内
サイトアクセス件数	9,528 件	4,232 件
ｓｔｅｐ登録件数	255 件	238 件

【成果】

○サイトのアクセス件数は順調に伸びており、サイトの知名度も向上している。

2　高度専門的な人材育成のためのセミナーの開催

(1)ものづくりカイゼン塾開催事業

ものづくり企業の競争力強化や新分野等への参入を行うために、生産管理の重要性、提案力・プレゼンテーションの向上、商品企画・開発、新分野参入を目指したセミナーを開催する。

【実績】

○セミナー等開催状況

実施日	名称	講師・講演内容	参加者数（充足率）
7/22	省エネルギーセミナー	「無料省エネ診断」「省エネ施策と補助金紹介」	24名（48%）
9/27-28	マネジメントゲーム研修（米子会場）	ゲーム盤やカード、駒等を使用し、会社経営を疑似体験する	16名（88%）
8/30他	売れる商品開発、企画力＆営業力ＵＰ講座	食品製造業関係事業者の商品開発力・商談力の向上を目指す	12名（92%）
11/10	３Sセミナー	３S 活動のワーキンググループ形成を目的としたセミナー	69名（230%）
1/17-18	マネジメントゲーム研修（鳥取会場）	ゲーム盤やカード、駒等を使用し、会社経営を疑似体験する	15名（83%）
1/26	展示会出展成功セミナー	展示会出展時の成約率を高めるための準備、展示方法、フォロー	15名（50%）

【成果】

○充足率にはバラツキがあるものの、いずれのセミナーも参加者の評価で「満足」の割合が高い。

(2)ＩＳＯ内部監査員養成セミナー

県内企業のＩＳＯ認証取得に必要となる人材を育成するため、ＩＳＯ（9001、14001）内部監査員の養成セミナーを実施する。

※政策目標　受講者　１００名

【実績】

○実施状況

開催日	開催場所	セミナー名	受講者数
10/17-19	東部地区	IS09001 内部監査員養成セミナー	26 名
11/28-30	中部地区	IS09001 内部監査員養成セミナー	27 名
10/5-7	東部地区	IS014001 内部監査員養成セミナー	27 名
11/9-11	中部地区	IS014001 内部監査員養成セミナー	17 名

【成果】

○県外の養成セミナーは参加費が高額で宿泊旅費も発生しすることから、機構が安価で開催するIS0内部監査員養成セミナー開催の要望は強い。

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅳ　産学金官の連携促進の支援</td></tr>
<tr><td colspan="2">～　研究開発の中核機関として、県内産業における新技術の開発や新分野への進出を支援する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">1　染色体工学研究拠点の形成</td></tr>
<tr><td>(1)とっとりバイオフロンティア管理運営事業
鳥取県より指定管理者の指定（平成２６年度～３０年度）を受け、とっとりバイオフロンティア施設の居室・機器の企業・大学への貸し出しを行うほか、施設内の清掃・機器管理等の業務を行う。
また、施設利用者への機器操作の支援、研究開発・事業化に関する相談を行うほか、とっとりバイオフロンティア内にバイオ人材育成ＣＤを配置し、バイオに係る専門人材育成のための研修プログラムを実施する。</td><td>【実績】
○施設の利活用
・実験室等施設入居状況
<table><tr><th>区分</th><th>設置数</th><th>利用数</th><th>備考</th></tr><tr><td>居室</td><td>４室</td><td>４室</td><td>間借り１室、一部共用を含み７社入居</td></tr><tr><td>実験室</td><td>４室</td><td>４室</td><td></td></tr><tr><td>動物飼育室</td><td>４室</td><td>４室</td><td></td></tr><tr><td>オープンラボ</td><td>１室</td><td>１室</td><td>鳥取大学染色体工学研究センター</td></tr></table>・２階機器利用状況（鳥大５階機器含む）
<table><tr><th>区分</th><th>利用回数</th><th>備考</th></tr><tr><td>４～３月</td><td>３３，６７３回</td><td>前年同期比１％増　前年33,230回</td></tr></table>○バイオ人材育成講座開催　29講座656名参加（前年同期30講座614名）
○利用促進・入居企業支援活動
・入居者の施設利用利便性向上のため意見交換会を実施（4/22）
・㈱テクノプロ　テクノプロ・R&D社　新事務所開設（4/1）
・企業訪問等 56社、視察対応 25社
・海外企業訪問実施：Shanghai Genon Biological products Co,Ltd.（中国）
CRYSTAL BIOSCIENCE社（アメリカ）
・展示会等出展
<table><tr><th>日程</th><th>展示会</th><th>場所</th><th>出展者数</th></tr><tr><td>5/11-13</td><td>Biotech2016</td><td>東京</td><td>6社</td></tr><tr><td>10/12-14</td><td>Bio Japan 2016</td><td>横浜</td><td>7社</td></tr><tr><td>10/13-15</td><td>日本薬物動態学会第31回年会</td><td>松本</td><td>ポスター発表</td></tr><tr><td>2/15-17</td><td>メディカルジャパン2017</td><td>大阪</td><td>3社</td></tr></table>【成果】
・バイオフロンティアができたことで、新たな産業をつくることができ、H28年度は入居企業新規採用者数9名と、地元出身者を含め研究者の雇用集積が高まってきた。
・人材派遣会社テクノプロ（東証一部上場）の研究所誘致に成功
・県内VCからの投資1件、共同研究契約締結5～6件、契約段階5件、ノンコンフィデンシャルでの交渉段階3件
・大学発ベンチャー企業㈱PACTが設立（H29.2月）
・5F動物飼育室も前年度まで800ケージに満たなかったが、800ケージを上回るようになった。
・人材育成セミナーのカリキュラム編成を見直し、バイオテクニシャン養成、染色体工学技術活用、バイオビジネス実践の3コースに改編したことによって、各受講者の目的とニーズに対し的確に応えられる講座開催に近づきつつある。</td></tr>
<tr><td>(2)とっとりバイオフロンティア基金事業
基金を設置し、施設整備等を行い、利用者へのサービス向上と施設機能の充実を図ることで、共同研究の推進や研究開発の強化を支援する。</td><td>【実績】
○平成28度　3,480千円造成。
○ＣＯ2インキュベーター及び実験台等の設置
【成果】
○備品の設置により、利用者の利便性、研究環境が充実した。</td></tr>
</table>

事業名・内容	事業の実績等
(3)地域イノベーション戦略支援プログラム 文部科学省の補助事業（５年間）として、平成２５年８月から事業実施する。 全体の事業のうち「知のネットワークの構築」について実施（「研究者の集積」、「人材育成」及び「設備の共有化」は鳥取大学が実施）	【実績】 ・特許出願数3件、査読論文数19件、参画企業数22社。 ・大型展示会（Biotech, BioJapan, MedicalJapan）で製薬企業（27社）と商談、事業化に向けて好感触（5月、10月、2月） ・グローバルコーディネーター支援地域に採択（７月） ・成果発表会を２回実施（第３回バイオ創薬研究会（9/9 東京）、とっとりバイオフロンティアセミナー（2/13 米子） ・入居企業の特許庁調査事業申請を支援し採択され、調査事業実施、報告書受領（10月） ・入居企業のキノコ事業の助成金申請を支援し採択され、交付申請（1月） ・国際技術動向調査ユニット会議を開催（3月） 【成果】 ・新事業「地域科学技術実証拠点整備事業」が文部科学省に採択。 鳥取大学発の医薬品開発ツールを活用した創薬研究開発事業化プロセスの加速化が期待。 ・鳥取大学発ベンチャー企業「㈱ＰＡＣＴ」が設立された。ヒトの治療用抗体をイヌ（ペット動物）化することでペット動物の自然発症がんや遺伝病を治療できるだけでなく、ヒトの新薬開発にも早期に貢献できるほか、完治を目指した効果的な治療法の提供による医療費削減や地方創生につながるビジネスモデルとなることが期待される。 ・成果発表会を２回実施することにより、製薬企業と大学等とのネットワークが構築できた。 ・大型展示会で、招待券制度の活用、技術に関する動画配信、ブース内セミナー等を積極的に行った結果、製薬企業からの引き合い件数の増加に結びついた。 ・海外向けにとっとりバイオフロンティアの英文ホームページを開設、YouTubeでの英語版動画配信を開始した。さらに、ジェトロを訪問し、出展に関する具体的内容等についてヒアリングを実施し、専門展示会等による情報発信に向けた活動に着手した。
２　ものづくり分野における新たな基盤技術の開発等	
(1)戦略的基盤技術高度化支援事業 川下企業ニーズに基づき、ものづくり中小企業を核として技術開発、新商品開発を行う提案事業。国の定めた１１技術分野（鋳造、鍛造、切削加工、めっき等）の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援する。（中国経済産業省補助の３年度間事業）。 また、競争的資金獲得に向けた提案力等の強化を図るため『競争的研究資金獲得支援セミナー』を開催する。	【実績】 ○新規採択案件 ・申請支援3件　採択0件 ○継続案件の進捗状況 ・テーマ①：ステンレス製小物精密部品の低コスト量産を実現する高度に温度管理された温間鍛造加工プロセスの実用化開発 構成企業：㈱寺方工作所(プロジェクトリーダー)、鳥取県産業技術センター 進捗状況：本年度が２年度目。今年度は試作完成品としての製品目標値をクリアし、当初の目標を達成して事業を完了した。 ・テーマ②：アーク放電感知技術による直流スマート開閉器の研究開発 構成企業：旭東電気㈱(プロジェクトリーダー)、米子工業高等専門学校、鳥取県産業技術センター 進捗状況：本年度が２年度目。今年度は開閉器の試作を行ない、実験、評価を実施し、当初の目標を達成して事業を完了した。 ○『研究開発資金へのチャレンジ』セミナーの開催（12/1） ４０名参加　３社個別相談実施 【成果】 新規案件の掘り起しに向けて、研究開発資金獲得支援セミナーを開催した結果、40名が参加者し、そのうち2社に対してサポイン申請に関する個別相談対応を行うことができた。
(2) 鳥取県産学共同事業化プロジェクト支援事業 産学官連携による新産業創出を促進するため、県内中小企業者と県内大学等の研究機関が共同プロジェクトとして実施する事業化を目指した研究開発への取組を支援する。	【実績】 ○支援案件の進捗管理（事業期間：平成27～29年度） ・テーマ：超氷温ジェルアイスを用いた冷凍水産物の高品質解凍流通技術の開発 ・構成企業：㈱氷温研究所、米子高専、ヤマト運輸㈱、ことぶき流通システム㈱、関西大学 ・進捗状況：２年度目となる本年度は、流通に適した超氷温ジェルアイスの温度帯の調査研究など、３つの調査研究、課題に取り組み、策定したスケジュール通りに遂行、当初の目標を達成している。 ○新規採択案件 ・申請支援1件　採択0件 【成果】 確実に事業の進捗管理を実施したことで、スケジュールどおり事業が遂行できている。

<table>
<tr><th>事業名・内容</th><th>事業の実績等</th></tr>
<tr><td colspan="2">Ⅴ　管理運営体制の確立</td></tr>
<tr><td colspan="2">～　公益財団法人の適正な管理・運営に資するよう、組織体制の整備等を図る。</td></tr>
<tr><td>(1)事業の継続性の確保
組織体制を強化し、プロパー職員を中心とした運営体制への移行を図るため、当財団が実施すべき核となる事業を「基幹事業」として位置付け、事業継続性を確保するとともに、その実施に必要な組織及び人員の定数化を図る。
※政策目標
企業支援の技術・ノウハウ定着
キャリアアップシステム確立</td><td>○運営費交付金見直しに合わせた体制の構築
・ハンズオン支援の強化
企業カルテによる診断に基づく専門家派遣事業の強化
ハンズオンスタッフの配置
・販路開拓支援の強化
販路開拓コーディネーターの配置
・事務補助機能の効率化・質向上
事務スタッフの処遇改善及び庶務集中化
○旅費システムの稼働（事務の省力化）</td></tr>
<tr><td>(2)企業調査・企業アンケートの実施
全ての賛助会員企業を調査し、ニーズを的確に把握するとともに、企業アンケートを実施し、施策の立案、事業の実施に活かす。
※政策目標
会員企業の工場見学会の開催</td><td>○企業調査・企業アンケートの実施（10月）
＊賛助会員アンケートの結果(概要)
<table>
<tr><th rowspan="2">会員数</th><th rowspan="2">回答数</th><th rowspan="2">利用あり</th><th rowspan="2">利用割合</th><th colspan="2">満足度</th></tr>
<tr><th>大変満足・満足</th><th>不満・大変不満</th></tr>
<tr><td>６０５</td><td>４０５</td><td>２２８</td><td>５６．３％</td><td>９４．８％</td><td>５．２％</td></tr>
</table>
○賛助会員企業見学会の実施
H28.5.18　㈱吉谷機械製作所、大鳥機工㈱
H28.8.3　㈱鶴見製作所米子工場、米子製鋼㈱
H28.9.14　三菱マヒンドラ農機㈱
日立金属㈱ 安来工場 ソリューション&エンジニアリングセンター
H28.10.18 旭東電気㈱八橋工場、㈱寺方工作所
H28.12.8　パイオニア精工㈱、㈱清水
H29.2.10　㈱ナサダ、佐藤精機㈱
H29.3.23　ＴＶＣ㈱
○海外経済視察の実施（インド）
H29.11.7-11.12　16社20名参加
○賛助会員向けセミナーの開催
H28.9.20 “アメーバ経営”とは ①～アメーバ経営概要と導入事例紹介～
H28.10.21“アメーバ経営”とは ②～市場に直結した部門別採算制度の確立～
H28.11.24“アメーバ経営”とは ③～京セラ会計原則と京セラフィロソフィ～</td></tr>
<tr><td>(3)施設管理事業
当財団の施設を入居室として企業に貸し出すとともに、入居企業等利用者の安全な利用環境の保全を図る。</td><td>○入居状況
・入居率　55%（H29.3.31現在）
○修繕等の状況
機構本部施設の屋根等の大規模修繕の実施（３年計画のうち初年度）</td></tr>
<tr><td>(4)情報発信
当財団の事業等を広く周知するため、電子媒体により情報を発信する。</td><td>
<table>
<tr><th>区　　分</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>ホームページによる情報</td><td>○各種商談会、展示会、セミナー、補助金制度等の案内
○賛助会員企業リポート（賛助会員企業の行う事業、取組等の記事掲載）</td></tr>
<tr><td>メールマガジン、プラザだより</td><td>○定期刊行物の発行・配信</td></tr>
<tr><td>アトリウム商品展示</td><td>○機構本部アトリウムにおける商品紹介展示
華誦絵、光電気ＬＥＤシステム㈱、鳥取電子㈱、㈱ウッドプラスチックテクノロジー、㈱明治製作所、高林産業㈱、㈱菊水フォージング、千代むすび酒造㈱、㈱ブリリアントアソシエイツ、㈱MY HONEY、イナバゴム㈱、㈲米村木工、大宝工業㈱関西カンパニー、㈱丸綜</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>